

## 灼熱の上海万博

上海の町は万博一色の賑わいを見せていた。2010年5月1日より同10月31日までの期間、上海世博園で開かれる国際博覧会での雰囲気であった。博覧会の参加国・地域・国際機関は万博史上最多の246を数え、なかでもアフリカ大陸からの参加国は50を上回る盛況ぶりであった。

黄浦江の川をまたいで会場となった博覧会は浦西エリアには主として企業パビリオンが建ち並び、浦東エリアには主として各国のパビリオンが並んでいた。会場の両端の距離は4km。328ヘクタールの面積は過去最大。会場内の移動は地下鉄やバスが使用された。

私が見学した日には50万人を超す入場者があり、更に今年一番の暑さでもあった。首にタオルを巻きペットボトルを飲みながらのコンディションは最悪。何処のパビリオンも長蛇の列。

2時間3時間の待ち時間。私にとってはそれに耐えるだけの体力は無かった。

結局、道路から見える各国パビリオンの建物を見て歩くしかなかった。しかし唯一見学できたのは並ばずに入れたアフリカ館のみであった。館内は各国とも素朴な展示であったが、参加することの意義、重要性が痛く感じ取れた。大勢の見学者、特に中国の人達にとってこのイベントの開催を心から歓迎し、楽しんでいる姿を目の当たりにした。会場を歩いていて1970（昭和45）年の大阪万博を思い出す。その時の入場者数6421万8770人。今回は中国の情勢から見て過去最高の7000万人を超すであろう。大成功おめでとう！

撮影 2010年夏

